

## 取組の概要

- 計画作成主体：明和町農業再生協議会  
 対象品目：キャベツ・レタス（産地面積15.3ha）  
 主な取組主体：農業者  
 成果目標：販売額10%以上増加  
     基準（R4年度）54百万円  
     目標（R8年度）88百万円  
 導入施設等：生産支援事業  
     （パイプハウス資材、機械リース）



群馬県  
 邑楽郡明和町  
 下江黒地区

## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

当該産地は旧来より水田が多く、担い手不足による耕作放棄地の増大が懸念されることから、農地バンクや基盤整備事業を活用した水田転換による加工業務用野菜の生産拡大を進めてきた。特にキャベツ・レタスを中心とした高収益作物の加工用契約栽培に取り組んでいるが、加工・業務用野菜の需要の高まりを背景に、より安定的な野菜生産が課題となっている。そこで、本事業の活用によりキャベツの更なる生産拡大を目指すとともに、需要が増大しているレタスの生産量を増加させ、年間を通じて消費者ニーズに対応できる加工・業務用野菜の安定的な生産体制を確立することで、産地形成を図る。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①年間を通じて消費者ニーズに対応できる加工・業務用野菜生産のためのハウス資材導入支援
- ②安定的な苗生産を目的とした育苗用ハウス資材導入支援
- ③生産規模拡大のための省力化に向けた機械導入支援

## 推進体制

- ・東部農業事務所(県)
- ・富士食品工業(実需者)
- ・JA邑楽館林
- ・明和町

指導・助言



- ・明和町農業再生協議会
- ①計画の策定・管理
- ②産地PR

情報共有

- 取組主体(法人)
- ①取組計画の作成
- ②取組実施等

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- ・基盤整備事業を活用した大規模な圃場整備
- ・農地バンクを活用した担い手への農地集積
- ・土壌分析結果に基づいた土づくりの取組み

## 期待される事業効果

### 【事業実施による直接効果】

- ①施設導入による安定的な生産、品質の向上
- ②機械導入による省力化
- ③リース支援による初期投資の節減

### 【事業実施による間接効果】

- ①事業規模拡大による新たな雇用の創出
- ②キャベツに加え、レタスを栽培することで年間を通じた経営の安定化
- ③契約栽培による経営の安定化
- ④耕作放棄地の解消



パイプハウス



ドローン

**販売額が増加**

～キャベツ・レタスの販売額～

